

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	自然環境保全センター 自然保護公園部		
96				
※記入不要				
要望問題				
里山における中大型動物の多様性保全に関する文献調査及び事例研究				
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】				
<p>里山は、本来生物相が豊かな地域であるが、都市化の進展等により、里山における大型動物の孤立化や放置里山を住拠とした動物の農地への進入が問題となっている。野生動物の生息地として、また農業被害防除対策における緩衝地帯として、里山の役割は重要であるが、これまで、里山の植生変化と野生動物保全に関する多角的考察が不足している。</p> <p>そこで、全国の既往研究成果や事例をもとに、中大型動物の生息地保全や被害対策として有効な里山管理の方法について研究し、既存の里山整備指針の改訂を要望する。</p> <p>研究では、中大型動物の生息地としての評価、シカやイノシシの農地への進入を防ぐ緩衝地帯としての評価、大型獣（シカ等）・中型動物（タヌキ等）・樹洞性動物（ムササビ等）・猛禽類・水辺依存動物等を指標とした環境収容力の評価などを行い、生物多様性の視点から生息環境を総合的に考察する。</p>				
解決希望年限	①1年以内	②2～3年以内	③4～5年以内	④5～10年以内
研究対応区分	①研究所対応	②委託研究	③共同研究	④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター			

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター			
部 署：	研究部			
対応区分	①実施	②実施中	③継続検討	④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名	(①、②、④の場合)			
対応の内容等				
<ul style="list-style-type: none"> ・既往研究は、種別の生態や分布調査、生物種を指標とした環境評価などがあるが、生物多様性の視点から生息環境を総合的に考察し、具体的に里山林整備と関連づけたマニュアルはありません。 ・従来の里山整備指針は、利用、景観や植生管理に主眼が置かれており、生物の生息地の保護管理という視点は十分とはいえず、この種のマニュアルへの関係機関や市民活動団体でのニーズは想定できます。 ・そこで、文献調査及び事例調査による準備研究後、来年以降課題化しマニュアルなどの形でとりまとめたと思います。 ・ポイントとしては、生息地の質・面積、つながり、管理内容を想定される種について既往成果を整理して明らかにし、事業などを通じて検証することです。 ・実施方法としては、林野庁研究普及課システム化課題対応、県単独課題などが想定されます。 ・今後は、具体的な研究方法と成果のアウトプット、実施方法について検討を前提とした、継続検討課題としたいと思います。 				
解決予定年限	①1年以内	②2～3年以内	③4～5年以内	④5～10年以内
備 考	ビオトープ整備などでの一般的考え方について資料に示しました。			